

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 17 日	
茨城県知事	殿
提出者	
住 所 愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字下市場 19-1	
氏 名 株式会社加藤建設代表取締役社長 加藤 明 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 0567-95-2181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社加藤建設（河川改修に関する工事現場）
事業場の所在地	茨城県常陸太田市堅磐 地先
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	元請完成高 90 億 300 万円
③ 従業員数	130 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトがら → 破碎 → 再資源化 コンクリートがら → 破碎 → 再資源化 建設汚泥 → 脱水・乾燥 → 再生利用 金属くず → 破碎・切断 → 再資源化 廃プラスチック類 → 破碎・圧縮 → 再資源化、埋立 混合廃棄物 → 選別・破碎 → 再資源化、埋立



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

コンストラクト事業部

本部長

|

各工事部長 (産業廃棄物処理総括責任者)

|

各担当課長

|

各現場担当者 (産業廃棄物処理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和6 年度) 実績】							
	産業廃棄物の種類	COがう	Asがう	木く ず	廃プラ	混合	紙く ず	がう
	排 出 量	532	236	364	30	22	0.9	0.1
	(これまでに実施した取組)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 破碎して再利用 ・ 分別の徹底を図る 							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	COがう	Asがう	木く ず	廃プラ	混合	紙く ず	がう
	排 出 量	500	200	250	25	20	0.5	0.1
	(今後実施する予定の取組)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記取組の徹底 							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類は それぞれに分別し保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	COガウ	Asガウ	木く ず	廃プラ	混合	紙く ず	ガラス
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)							
	・実施していない							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	COガウ	Asガウ	木く ず	廃プラ	混合	紙く ず	ガラス
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組)							
	・実施の予定なし							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	COガウ	Asガウ	木く ず	廃プラ	混合	紙く ず	ガラス
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)							
・実施していない								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	COガウ	Asガウ	木く ず	廃プラ	混合	紙く ず	ガラス
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組)							
・実施の予定なし								

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	CO ガラ	As ガラ	木くず	廃プラ	混合	紙くず	ガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	（これまでに実施した取組） ・実施していない							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	CO ガラ	As ガラ	木くず	廃プラ	混合	紙くず	ガラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
	（今後実施する予定の取組） ・実施の予定なし							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	CO ガラ	As ガラ	木くず	廃プラ	混合	紙くず	ガラス
	全処理委託量	532	236	364	30	22	0.9	0.1
	優良認定処理業者へ 処理委託	0	0	12	19	21	0	0.1
	再生利用業者へ 処理委託	532	236	364	30	22	0.9	0.1
	認定熱回収業者へ 処理委託	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外 熱回収を行う業者へ 処理委託	0	0	0	0	0	0	0
<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用業者への委託を行い、最終処分量の低減を図る 								

②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	CO ガ ラ	As ガ ラ	木 く ず	廃フ ラ	混合	紙 く ず	ガ ラ
	全 処 理 委 託 量	500	200	250	25	20	0.5	0.1
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0	0	12	20	19	0	0.1
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	500	200	250	25	20	0.5	0.1
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量							
	(今後実施する予定の取組)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優良認定業者の調査を行い、可能であれば選定する 							
※事務処理欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。